

「県議会」を親子で楽しく体験

令和4年8月6日に県内の小学校5・6年生を対象とした
親子県議会教室を開催しました。



当日は18組36名の親子が参加し、
クイズなどで県議会の役割や県議会議員の仕事を学んだり、
県議会議事堂を探検したり、親子で楽しみながら県議会を体験しました。

※写真撮影のためマスクを外しています。

参加者の感想

関上 颯汰君 (一戸町立一戸南小学校5年)
議事堂探検で議長席や副議長席に座ったときは、ちょっと特別な気持ちがありました。ふれあいトークでは、みんながいろいろ質問して、難しい答えもあったけど、こういう岩手県にしていきたいということがわかって良かったです。議員さんにどうして県議会議員になったのかを聞いたり、今日は一日楽しかったです。

保護者の関上 祐児さん
私自身も県議会は初めてで、子どもより私のほうが楽しんでたかもしれません。子どもたちが実にしっかりしていて驚きました。子どもが子どもらしく笑い、成長していける世の中であり続けてほしい。政治の話も、議員さんと直接お会いして同じフィールドで聞けば、演説やテレビより伝わると思いました。

中嶋 理菜子さん (盛岡市立松園小学校6年)
ふれあいトークでは、議員さんは難しい質問にもおもしろい情報を入れながら話してくれ、東日本大震災のことや子どもたちの教育、結婚支援制度のことなどを知ることができました。今日はお父さんに勧められて参加しましたが、私も政治に関心を持って、将来は国や県の仕事ができればいいなと思っています。

保護者の中嶋 美菜子さん
今までは県議会というと敷居が高くあまり関心がなかったのですが、実際に来てみたらそんなことはなくて、今日は得した感じです。周りの人にも傍聴をお勧めしたいですね。政治活動のときは違う議員さんの素顔の一面も見られました。私たちが安心できる暮らしをぜひ実現していただきたいと思います。

12月定例会

12月定例会は、11月25日から12月8日まで開催されました。知事から提出された令和4年度岩手県一般会計補正予算(第6号)など、46件の議案は全て可決・同意され、委員会が提出した安全・安心の医療・介護実現のため処遇及び制度の改善を求める意見書など13件の議案は全て可決されました。また、請願は4件が採択、3件が一部採択、2件が不採択となりました。



採決の様子

議決の状況

★議員別の賛否の状況は県議会ホームページでご覧になれます。

- ◎令和4年度補正予算【可決】
一般会計2件
- ◎条例議案【可決】
情報公開条例の一部を改正する条例など14件



- ◎その他の議案【可決】
大船渡港永浜地区海岸防潮堤(第2工区)工事の変更請負契約の締結に関し議決を求めることについてなど29件
- ◎人事議案【同意】
収用委員会の委員及び予備委員の任命に関し同意を求めることについて
- ◎委員会提出議案【可決】
岩手県議会情報公開条例の一部を改正する条例など条例2件、意見書11件(詳細は2ページに記載)

請願の採択状況

★採択された請願の本文は県議会ホームページでご覧になれます。
★請願の件名は請願書のとおり記載しています。

- ◎採択(意見書を発議し、関係機関に要望することとして採択)
▶私学助成の充実強化等に関する請願
▶私学助成を拡充させ、教育費負担の公私間格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願
▶学校給食無償化と地場産、国産食材の利用を促進するよう求める請願
▶岩手県の医療費助成制度について更なる拡充を求める請願



- ◎一部採択(意見書を発議し、関係機関に要望することとして一部採択)
▶介護保険制度の改善を求める請願
▶安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める請願
▶病院内保育所職員の処遇を改善し、病院内保育所への支援拡充を求める請願
- ◎不採択
▶インフォームド・コンセント違反の接種行為を構造的に量産する重大な欠陥を否定できない行政文書に関わる行政行為全般の改善を求める請願
▶旧統一協会と県議会議員との関わりについての調査・公表を求める請願

❖ いわて県議会だより

令和4年12月定例会
第185号

「いわて県議会だより」は各市町村を通じて県内全世帯にお配りしています。点字版・テブ版・デジ版も用意していますので、ご希望の方は、県議会事務局までお問い合わせください。

音声データ掲載のご案内
「いわて県議会だより第182号」から、音声データを岩手県議会ホームページに掲載しています。第185号のデータは、2月中旬頃に掲載する予定です。

<https://www.pref.iwate.jp/gikai/koho/dayori/1057389/index.html>



ホームページのご案内
議会の概要、議員名簿、本会議の会議録、本会議のインターネット中継、傍聴や請願・陳情の手続等をご覧いただけます。
<https://www.pref.iwate.jp/gikai/index.html>

編集・発行・
問い合わせ先

岩手県議会事務局
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号
電話 (019) 629-6021・6022 FAX (019) 629-6014
E-mail gikai@pref.iwate.jp

岩手県庁の隣です



委員会が提出した議案 ★意見書の本文は県議会ホームページでご覧になれます。

今定例会では条例2件、意見書11件が可決されました。可決された意見書は、県議会から、内閣総理大臣をはじめ国会や国の関係機関などに提出し、その実現を図るよう強く要望しました。

◎条例

- ▶岩手県議会情報公開条例の一部を改正する条例
- ▶岩手県議会個人情報保護等に関する条例

◎意見書

- ▶安全・安心の医療・介護実現のため処遇及び制度の改善を求める意見書
- ▶病院内保育所職員の処遇の改善と病院内保育所への支援拡充を求める意見書

- ▶私学助成制度の充実を求める意見書
- ▶学校給食費の無償化を求める意見書
- ▶高校卒業時までの子ども医療費窓口負担の無料化を求める意見書
- ▶新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行への対策強化を求める意見書
- ▶マイナンバーカードの普及状況を地方交付税の算定等に反映させないことを求める意見書
- ▶防災・減災、国土強靱化の更なる推進を求める意見書
- ▶東日本大震災津波被災者のこころのケア対策の継続的な財政支援を求める意見書
- ▶妊産婦医療費助成制度の創設を求める意見書
- ▶保育士配置基準の見直しを求める意見書

県政に関する質問から

12月1日から12月5日まで行われた一般質問では、9名の議員が質問に立ちました。その中から、それぞれ1項目を取り上げ、議員の質問と知事または関係部局長等の答弁の要旨を紹介します。

12/1(木) 一般質問

各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。または「岩手県議会中継」で検索してご覧いただけます。※視聴環境はWi-Fiおよび各キャリアの高速回線サービスを推奨します。
※新型コロナウイルス感染症対策として、演壇に飛沫防止のアクリル板を設置したため、質問者の写真に照明等が反射している場合があります。

1人目

自由民主党

かわむら しんこう
川村 伸浩 議員

【花巻選挙区】



2人目

希望いわて

ごう こん ひろし
郷右近 浩 議員

【奥州選挙区】



3人目

自由民主党

たかはし やすゆき
高橋 稔至 議員

【北上選挙区】



コロナ禍を契機とした今後の観光施策

問 長引くコロナ禍で観光産業が大きなダメージを受けている中、スマートフォンやインターネットの活用による、旅行者の情報入手方法が多様化し、一人一人の旅行形態に変化がみられている。コロナ禍からの観光需要の回復には、旅行者のニーズを的確に把握した施策の展開が必要であると考えますが、デジタル技術をどのように活用して今後の観光施策の取り組みを進めていくのか伺う。

答 観光客の誘客拡大に当たっては、本県を訪れる観光客の動きや買い物の状況をデータ化し、デジタルマーケティングを活用した観光振興を進めることが重要である。

このため、いわて旅応援プロジェクトのクーポン券の利用状況をはじめとしたデータを集約し、多角的に分析するいわて観光データ・マネジメント・プラットフォームの構築を進めており、市町村、観光協会、**地域DMO**などを対象にその活用に向けた実践塾を開催していく。実践塾では、デジタルマーケティングと連動した旅WEBやSNSによる情報発信などをテーマに、地域のマーケティング人材の育成も図っていく。

こうした取り組みを通じて、趣味趣向、居住地、年齢など旅行者の属性に応じて利便性の高い情報を提供することにより、デジタルマーケティングに基づく観光振興をオール岩手で展開していく。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 知事の要望活動とトップセールス
- 2 J Rローカル線の維持
- 3 農業振興
- 4 いわて花巻空港

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



子どもの医療費現物給付の対象拡大

問 令和3年の本県の出生数は10年前と比較して2,838人減少し6,472人、**合計特殊出生率**は平成29年と比較して0.17ポイント低下し1.30と、低下傾向が続いている。

令和5年度から盛岡市、滝沢市、久慈市が子ども医療費助成の対象を高校生まで拡大する見込みであると報道された。このように、市町村による取り組みが進められている中、子育て世代が医療費の負担軽減をより一層実感できるよう、市町村や関係団体からも要望の声が高い、子ども医療費助成の現物給付の対象拡大が重要と考えるが、今後の取り組みについて伺う。

答 県では、人口減少対策としての総合的な子育て支援施策の一環として、市町村等と協議の上、令和2年8月に全県一律で現物給付の対象を中学生まで拡大した。

これにより、子育て家庭の経済的な負担が軽減され、その置かれた環境に左右されることなく、子どもの適正な医療の確保が図られてきている。令和5年度から県内全市町村で、高校生までの医療費助成の拡大が見込まれることを機に、現物給付の高校生までの拡大について、市長会、町村会を通じて全ての市町村から要望を受けており、これまで県と市町村が足並みを揃えて全県一律に導入を図ってきた経緯も踏まえ、来年度の実施に向けて検討を進めていく。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 地域医療の今後の方向性
- 2 新型コロナウイルス感染症第8波に対応する補正予算
- 3 I L Cの推進
- 4 教育施策 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



結婚サポート事業

問 行財政改革に関する報告書では、人口減少対策は社会経済情勢等の影響を受けることから、一定程度の期間、事業を実施し、その効果を検証する必要があるとされている。

県は平成27年度から結婚支援を強化する事業を行ってきているが、その効果をどのように検証しているのか。これまでの取り組みに何が足りなかったのか、そして令和5年度からどのように取り組んでいくのか伺う。

答 県では、“いきいき岩手”結婚サポートセンター「i-サポ」を平成27年度に開設して以降、拠点の増設やAIを活用したマッチングシステムの導入などにより支援を拡大してきたが、i-サポの成婚者数は令和3年度の目標値に達していない。主な要因は会員数の伸び悩みにあり、結婚を願う県民に十分に情報が行き届いていなかったと分析している。

今年度はいわてで生み育てる県民運動の一環としてメディアを活用した広報を実施するとともに、地域の企業・団体への訪問やリーフレットの配架など周知活動に取り組んでいる。来年度に向けて、対象となる年代への効果的な広報について検討するほか、地域の特性や実情に合わせた結婚支援の取り組みを推進できるよう、市町村や関係団体との連携を強化していく。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 医療提供体制の充実とDXの推進
- 2 県立高等学校における学びの質の向上
- 3 グリーン社会の実現
- 4 農業振興 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



用語解説

▶**地域DMO (2ページ)**…基礎自治体である市町村の区域を一体とした観光地域として、マーケティングやマネジメント等を行うことにより観光地域づくりを行う組織。

▶**合計特殊出生率 (2ページ)**…15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計し、一人の女性が一生の間に何人の子どもを生むのかを推計したものの。

▶**ダンピング (3ページ)**…供給に要する費用を著しく下回る対価で商品等を供給し、他の事業者の事業活動を困難にさせるおそれがあるもの。

若者向け傍聴案内ポスターデザイン コンテスト入賞作品の中から、 12月定例会のポスターを作成しました。

岩手県立一関第一高等学校 いわぶち おとわ
岩淵 音和 さん

若い人に「自分たちがこれからの岩手を創っていく」という意識を持ってもらえるように、岩手県を彫刻している学生たちを描きました。配色を工夫することで、目を引きやすいイラストに仕上げることができました。

このポスターを見た方に、県議会への興味が芽生えれば嬉しいです。この度はこのような賞をいただき、ありがとうございました。



12/2(金) 一般質問

各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。または「岩手県議会中継」で検索してご覧いただけます。※視聴環境はWi-Fiおよび各キャリアの高速回線サービスを推奨します。
※新型コロナウイルス感染症対策として、演壇に飛沫防止の亚克力板を設置したため、質問者の写真に照明等が反射している場合があります。

1人目

いわて新政会

よしだ けいこ
吉田 敬子 議員

【盛岡選挙区】



2人目

希望いわて

かるいし よしのり
軽石 義則 議員

【盛岡選挙区】



3人目

自由民主党

よない ひろまさ
米内 紘正 議員

【盛岡選挙区】



支援を必要とする妊婦への支援

問 若年妊娠や予期せぬ妊娠、経済苦などで出産前後に支援を必要とする特定妊婦が全国で増えている。本県において特定妊婦として市町村が対応している件数は令和元年が140人、令和2年は174人と増加している。このような特定妊婦に対し、県が行う支援は極めて少ないと感じるが、課題と今後の取り組みを伺う。

答 県は各保健所を女性健康支援センターと位置づけ相談を受けているが、相談件数は年間数件にとどまっており、支援を必要とする妊婦を把握し、適切な支援につなげることが課題である。このため、市町村における家庭訪問による相談支援など、支援機能の充実を図るとともに、民間団体と連携した支援が重要と考えている。

国は、令和4年6月に児童福祉法の一部改正を行い、支援を要する妊産婦などに対するサポートプランの作成を市町村の業務として位置づけ、令和6年度から施行されることになった。

予期せぬ妊娠は女性の心身に大きな影響を及ぼし、重篤な結果をもたらす恐れもある。支援のきっかけとなる相談の選択肢を増やすことが重要であり、県では、特定妊婦の早期把握や相談支援のさらなる充実が図られるよう、市町村や民間団体との連携強化に努めていく。



相談の様子

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 不登校児童生徒等への支援
- 2 学校司書の配置と学校図書館の機能充実
- 3 インクルーシブ遊具を備えた公園
- 4 パートナーシップ制度の導入 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



県営建設工事入札に係る 各種団体からの要望

問 県営建設工事の入札における予定価格の事前公表は、採算性を度外視した低価格入札となり、そのしわ寄せが下請け企業などに及ぶダンピング入札となる恐れが指摘されている。予定価格の事前公表は、県内中小企業者、小規模事業者の維持や育成につながらないと考える。事前公表廃止の可能性も含め、公正・公平な入札の実施と地元の優良な中小企業の維持・育成の視点が重要と考えるが、県の対応を伺う。

答 県では総合評価落札方式の導入によりダンピング防止を図り、地元企業の技術力、企業努力などを適切に評価し、地元企業の受注機会の確保にも配慮した制度の運用に努めてきた。また、毎年、地域懇談会などの場において関係団体から様々な意見を聞き、県内の入札状況の実情を把握することで、震災特例制度の見直しやダンピング防止対策の強化を図ってきた。

予定価格の事前公表については、入札の透明性の向上、発注者受注者双方の事務効率の向上、さらには予定価格に係る不正防止の観点から有効として導入し、国の指針に基づき十分検討しながら運用しており、制度導入以降、弊害は生じていないが、引き続き入札動向や他県の実情などを見ながら適切に対応していく。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 新型コロナウイルス感染症対策
- 2 本県の雇用対策と労働環境
- 3 生活困窮者への支援
- 4 ハロウィンターナショナルスクール安比ジャパンへの支援等 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



達増知事就任当初の公約の実現

問 達増知事が平成19年に当選してから15年が経過し、就任当初は2期8年の任期や地方分権の推進などを訴えていた。中でも4つの広域振興圏が将来的な基礎自治体となるように、自立性、完結性を高めることを「岩手四分の計」と称し、公約の柱としていた。しかし、広域振興局に割り当てられる地域経営推進費は年々減少しており、予算や権限が委譲されない中で、現在の広域振興局の自立性や完結性は高まらず、本庁と市町村の仲介機関になっていると思うが所見を伺う。

答 最初の選挙の希望マニフェストでは、日本全国を300の基礎的自治体に分ける場合、岩手県においては4つに分けることが適当であり、広域振興圏を将来の自治体とする構想を掲げていた。しかし、復興に取り組む中で、今ある市町村が救済、避難、復旧、復興に大きな役割を果たし、県も市町村と連携しながら国と一緒に復興を進めていく役割を果たしたことから、2回目以降の選挙においては広域振興圏を将来の基礎自治体とすることは公約として掲げないことにした。

広域振興圏は、市町村と県が連携する際の鍵となるものであり、裁量により執行できる予算を措置し、広域振興局長が処理できる317事務を移管して、その権限を拡大している。

県北広域振興圏

・久慈市
・二戸市
・普代村
・軽米町
・野田村
・九戸村
・洋野町
・一戸町

県東広域振興圏

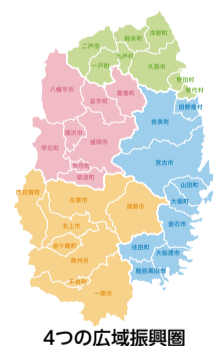
・盛岡市
・八幡平市
・滝沢市
・雫石町
・葛巻町
・岩手町
・紫波町
・矢野町

県南広域振興圏

・花巻市
・北上市
・遠野市
・一関市
・奥州市
・西和賀町
・金ケ崎町
・平泉町

沿岸広域振興圏

・宮古市
・大船渡市
・陸前高田市
・金石市
・住田町
・大槌町
・山田町
・岩泉町
・田野畑村



4つの広域振興圏

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 いわて県民計画(2019~2028)第2期アクションプラン
- 2 持続可能で希望ある岩手を実現するための行財政改革に関する報告書
- 3 岩手県DX推進計画
- 4 マイナンバーカードの利用促進 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



1人目
いわて県民クラブ
ハクセル 美穂子 議員
【滝沢選挙区】



2人目
希望いわて
佐藤 ケイ子 議員
【北上選挙区】



3人目
日本共産党
斉藤 信 議員
【盛岡選挙区】



子どもの医療費助成の拡充

問 人口減少対策に成功したハンガリーでは、子ども4人を出産すると定年まで所得税がゼロなどの集中的な支援を行い、1.25人以下になった合計特殊出生率が数年で1.50人以上に回復した。同じく兵庫県明石市では、子育て世帯が納める税金を子ども施策で還元して地域経済の好循環をつくると考え、子どもの医療費を18歳まで無料にする政策などに所得制限を設けていない。また、子どものために使用されているか不透明な給付金より、子育て費用の負担軽減が公平という考えから無料化政策を選択している。少子化対策は、給付金よりも減税や無料化政策の方が実効性があると考え、子どもの医療費助成を拡充し、所得制限を9歳まで撤廃することについて所見を伺う。

答 子どもの医療費助成は、本来、自治体の財政力の差などによらず、全国どの地域においても同等な水準で行われるべきであり、全国一律の制度を創設するよう、今後も全国知事会とも連携し、粘り強く国に提言していく。

また、所得制限の撤廃を含め、県の医療費助成の対象拡大などについては、本県の厳しい財政状況を踏まえ、国の動向を注視しながら、県の医療・福祉政策全体の中で、総合的に検討する必要があると考えている。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 国・県・市町村の連携
- 2 起業家支援
- 3 教育現場におけるDXの推進
- 4 畜産振興 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



JRローカル線維持確保の対応と決意

問 令和4年7月、JR各社は赤字地方路線を公表した。県内では6路線が大幅赤字となっている。地方路線の廃止は、特に高校生の通学に大きく影響し、小規模校の存続問題にも関わり、さらなる地方の衰退が懸念される。地方創生とローカル線のあり方、地方の公共交通の採算性の問題について所感を伺う。また、全国知事会の動きや各県とどう連携していくのか伺う。

答 地方ローカル線は、地域住民の移動手段のみならず、災害時の代替性・補完性を有し、観光・物流などの地域経済を支える重要な役割を担うとともに、駅はまちづくりの中心として地域の活力を維持・発展させる基本的な社会基盤であり、単に採算性だけで鉄道としての存廃を論じるべきではない。

県では、国とJR東日本は、地方鉄道路線を含めた鉄道ネットワークを国の交通政策の根幹としてとらえ、国鉄改革の経緯も踏まえJRローカル線を維持していくための取り組みを実施してほしいと考えている。

令和4年5月には28道府県と連携して国に対し鉄道維持に向けた提言を実施し、全国知事会でも11月に鉄道を維持すべく要請活動を行っており、引き続き、沿線市町や関係道府県と連携して国やJR東日本に強く働きかけていく。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- ※議員の通告のとおり記載しています。
- 1 旧統一教会*の影響を受けた施策
 - 2 ひきこもりと不登校への対応
 - 3 東北横断自動車道釜石秋田線
 - 4 盛岡赤十字病院 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



新型コロナウイルス感染症第8波の状況と第7波の教訓

問 県内の新規感染者数は11月に第7波のピークを3回更新し、クラスターの発生件数も8月を大きく上回り、その半数近くを高齢者施設が占めている。その中で特に重大なことは死者数の増加である。国では第8波の感染拡大に対し、行動制限は行わないとしているが、第8波の感染拡大の状況の認識を伺う。また、第7波の教訓をどう受け止め、感染拡大の抑制と新型コロナから県民の命と健康を守る取り組みを進めているのか伺う。

答 第7波では、オミクロン株の高い感染力により医療機関に大きな負荷がかかった状況を踏まえ、重症化リスクの高い方が必要な検査や診療が受けられるよう、陽性者登録センターや検査キット送付センターの設置、高齢者施設や保育園などで集中的検査を拡充し、第8波に備えてきた。

現在、第8波の感染拡大により医療現場の負荷が再び高まっていることから、県民の皆様に対し、希望する方のワクチンの早期接種、県の専門委員会からのアドバイスに基づく基本的感染対策の徹底、可能な限り平日・日中の相談・受診への協力などを重ねてお願いしてきた。

今後も患者が適切な医療を受けられるよう関係機関と連携し、診療・検査医療機関や検査体制の充実、ワクチン接種の推進に努めていく。



岩手県新型コロナウイルスワクチン接種予約サイト

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- ※議員の通告のとおり記載しています。
- 1 物価高騰から県民の暮らしと営業を守る課題
 - 2 緊急の子育て支援策の課題
 - 3 統一協会*と自民党の癒着問題
 - 4 平和と暮らしを脅かす岸田政権の大軍拡 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



県議会からのお知らせ

●インターネット中継
県議会ホームページでは、本会議や予算・決算特別委員会の模様をライブ中継しているほか、録画中継も行っていますので、ぜひご覧ください。

●岩手県議会公式チャンネル(YouTube)
一般質問等の様子のほか、岩手県議会の役割や議員のしごとなどをわかりやすく紹介する動画「わたしたちの岩手県議会」をYouTubeで動画配信しています。公式チャンネルからご覧ください。

岩手県議会公式動画チャンネル 検索



●テレビ広報 県議会ダイジェスト番組「きょうの県議会」
一般質問が行われた日に、質問の様子を3分程度にまとめた番組を、テレビ岩手、岩手めんこいテレビ、岩手朝日テレビの各放送局で18時50分台に放送します(放送時間は変更になる場合があります)。

●岩手県議会Facebook
議会の日程やトピックなど最近の情報を配信するため、岩手県議会Facebookページを開設しています。県議会ホームページの「岩手県議会Facebook」をクリック!
携帯電話・スマートフォンからはこちら→



●一般質問に登壇する議員と質問項目
各定例会で一般質問に登壇する議員と質問項目は、定例会開会日の本会議終了後に県議会ホームページでお知らせしています。県議会ホームページで「一般質問通告」をクリック!

●請願の提出
請願の提出には、県議会議員の紹介(署名)が必要です。請願を提出する方は、審査を希望する定例会の招集日までに会派など(議員)に対して十分に説明を行い、議員の紹介を受けた上で、請願審査が行われる常任委員会開催予定日の3日前の正午までに県議会事務局に提出してください。
なお、提出期限などの具体的な日時は、定例会ごとに会期などと併せて県議会ホームページでお知らせします。

